

戦略的大学連携支援事業

「科学 Try アングル岡山」 行事等 報告書

行事名	平成22年度津山高専英会話研修（科学 Try アングル岡山連携事業）														
当部門・機関	国際交流部門・岡山大学														
開催日時・期間	平成22年10月6日(水) ～11月17日(水)まで 毎週水・金曜日の2回 17時～18時30分	開催場所	津山高専 管理・一般棟2階 リフレッシュルーム												
<p>《概要》</p> <p>津山高専の職員の人材育成及び科学Tryアングル岡山が行う、科学を通じた国際交流への協力を円滑に行うため、職員の英語を使用したコミュニケーション能力の向上を図ることを目的として実施した。</p> <p>対象は、英会話研修の成果を職務に反映させることが期待できる本校職員（教員を除く）のうち、英会話について初歩的な能力（留学生の受入れ業務や国際交流関係業務に従事した経験の有無は問わない。）を有し、かつ全日程受講が可能な者とした。</p>															
<p>《参加者》</p> <p>参加者は、課長1名、課長補佐2名、係長3名の計6名であった。 (講師は MITU HA)</p>															
<p>《報告事項》</p> <p>全12回の研修で、基礎的な英語力の向上と、英語への苦手意識の克服を目標に日常会話を学習した。</p> <p>初歩的な挨拶の仕方をはじめ、外国人訪問者等を想定した簡単な応対の仕など、実用英会話の内容で、ペアワークで会話を行ったり、講師のMITU HA先生から解りやすい教材の提供を得て、大変楽しく学習できた。</p> <p>I. 受講者アンケート</p> <p>本研修終了後にアンケートを実施した結果、参加者全員（6名）から回答を得られた。集計結果は以下のとおりであった。</p> <p>①本研修の実施をどのようにして知りましたか？</p> <table border="1"> <tr> <td>事務部からの案内メール</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>所属大学・高専のホームページ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>友人または知人から聞いて</td> <td></td> </tr> <tr> <td>*その他</td> <td>1人</td> </tr> </table> <p>*内訳：所属の上司から</p> <p>②本研修の実施形態、実施時期、開始時刻について教えてください。</p> <p>実施形態について</p> <table border="1"> <tr> <td>適当</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>不適当</td> <td></td> </tr> </table>				事務部からの案内メール	5人	所属大学・高専のホームページ		友人または知人から聞いて		*その他	1人	適当	6人	不適当	
事務部からの案内メール	5人														
所属大学・高専のホームページ															
友人または知人から聞いて															
*その他	1人														
適当	6人														
不適当															

実施時期について（10～11月）

早い	
適切	5人
遅い	

*無回答 1人

開始時刻について（17時～）

早い	1人
ちょうどよい	4人
遅い	

*無回答 1人

③本研修のレベルについてお聞かせください。

易しい	
ちょうどよい	5人
やや難しい	1人
難しい	

④本研修で、所属の異なる部局、大学・高専等機関の職員と交流ができましたか？

はい	3人
いいえ	2人

*無回答 1人

⑤本研修の満足度をお聞かせください。

非常に満足	2人
満足	3人
ふつう	1人
やや不満	
不満	

⑥戦略的大学連携支援プログラム（戦略G P）「科学Tryアングル岡山」の名称または活動をご存じでしたか？

聞いたことがある	6人
参加したことがある	
今回初めて知った	

⑦本研修や「科学Tryアングル岡山」（G P）について、感想、ご意見、ご要望等、ございましたら、ご自由にご記入下さい。

- ・大変有意義な研修でした。今回は入門編でしたが、今後「初級」「中級」とステップアップ出来る研修があれば是非、参加したいです。

II. 所感

本校の英会話研修は、語学研修を通じて「ただ研修を受ける」のではなく、研修を受けたことが語学能力を向上させようと思う職員の「動機付け」となり、自己研鑽してもらいきっかけにしてもらおうという狙いのもとに実施している。

今回は、講師のMITU HA先生が、教材や演習の内容を毎回工夫し、受講生のレベルにあった理解しやすく、しかも研修が苦痛に感じない内容を展開し、まさに「動機付け」になる研修の実施となった。

III. 研修の様子

(研修の様子)



(講師：MITU HA 氏)



(研修の様子)



(修了証書授与式の様子)

